

# たかおか

# 市議会 だより

No.38 3月定例会号  
平成27年(2015年)5月1日発行

3月定例会のあらまし	2P
代表質問	5P
個別質問	6P
総括質問	10P
委員会の動き	12P

さあ、2015.3.14 北陸新幹線開業  
新高岡駅から。

北陸新幹線開業日を迎え、にぎわう新高岡駅

編集■広報広聴委員会  
発行■富山県高岡市議会  
〒933-8601 高岡市広小路7-50  
TEL 0766-20-1531  
FAX 0766-20-1534  
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



# 平成27年度予算

## 総額1354億1557万円を可決

### 代表・個別・総括質問に14人が登壇

3月定例会は2日に開会し、19日に閉会しました。市長から平成27年度予算をはじめ65議案が、議員から条例など5議案が提出され、うち67議案を可決・承認・同意しました。今定例会では、代表・個別・総括質問に14人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

**可決・承認・同意した  
主な議案等**

#### 条例

##### ■事務分掌条例の一部改正

組織機構の再編に伴い、設置する部及びその分掌する事務を定めるもの。

・生活環境部

↓市民生活部

・建設部及び都市整備部

↓都市創造部

##### ■総合計画条例

総合計画第3次基本計画の策定着手を契機に、総合計画の位置付け等必要な事項を定めるもの。

##### ■子ども・子育て基金条例

子どもたちが健やかに成長し、子育て世帯が希望や喜びを感じながら安心して子育てができる環境づくりに資する

ため、基金を創設するもの。

##### ■保育所条例の一部改正

子ども・子育て支援新制度の関係法令の施行と児童福祉法の改正に伴い、保育所の使用料や保育時間等を新たに規定するもの。また、児童数の変動に伴い、保育所の定員を変更するもの。

(使用料)

・児童福祉法の改正に伴い、保育料の徴収根拠が削除されたことにより、保護者からの徴収根拠及び額を規定するもの。

・実際の利用者負担額については、所得に応じて規則で定める。

(休日)

日曜日、祝日及び市長が指定する日

(保育時間)

午前7時～午後6時

（平成27年5月7日）

(施行期日)

平成27年4月25日

（高岡御車山会館条例）

高岡御車山に関する歴史や文化を紹介するとともに、観光の振興に寄与するため高岡御車山会館を設置するもの。

(施行期日)

平成27年4月25日



スポーツ・レクリエーションの拠点 ボールパーク高岡

##### ■介護保険条例の一部改正

第6期介護保険事業計画（平成27年度から29年度まで）に基づき介護保険料率の改正等を行うもの。

##### ■コミュニティセンター条例の一部改正

新たな地域コミュニティの拠点施設として伏木コミュニティセンターを設置するとともに、伏木支所、伏木公民館及び伏木図書館を当該センター内に移設するもの。

(施行期日)

平成27年5月7日

##### ■高岡御車山会館条例

高岡御車山に関する歴史や文化を紹介するとともに、観光の振興に寄与するため高岡御車山会館を設置するもの。

(施行期日)

平成27年4月25日

## 議決結果一覧

### ■初日提出議案

平成27年度 当初予算

- ◇一般会計……………賛成多数で可決
- ◇国民健康保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇荻布奨学金事業会計……………全会一致で可決
- ◇駐車場事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業団地造成事業会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇後期高齢者医療事業会計……………賛成多数で可決
- ◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決
- ◇水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業用水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇簡易水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇下水道事業会計……………賛成多数で可決

### ■条例

- ◇農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙区等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇事務分掌条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇市附属機関に関する条例及びスポーツ推進審議会条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇情報公開条例及び個人情報保護条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇行政手続条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇総合計画条例……………全会一致で可決
- ◇職員定数条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例……………全会一致で可決
- ◇特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例及び職員等旅費支給条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件等に関する条例の廃止……………全会一致で可決

## ■ 体育施設条例の一部改正

高岡西部総合公園野球場を新設するもの。

(施行期日)

平成27年5月23日

## ■ その他

### ■ 工事請負契約の締結

①博労小学校体育館耐震補強工事  
契約金額 1億8446万円

②高陵中学校校舎耐震補強工事  
契約金額 3億8740万円

### ■ 財産の処分(土地)

高岡オフィスパーク用地を売却するもの。

所在 オフィスパーク11番  
面積 5958㎡

売却価格 5899万円

### ■ 指定管理者の指定

五位山交流館について指定管理者を指定するもの。

### ■ 町の区域及び名称の変更

旧町名復活の申し出を受け変更を行うもの。

大町の一部 ↓ 袋町  
本町の一部 ↓ 平米町

## ■ 報告

### ■ 専決処分の報告

除雪に対処するため、予算補正を専決処分したものを。

## ■ 人事

### ■ 教育委員会委員

森 美和氏(新任)

(二上)

## ■ 監査委員

廣嶋 康雄氏(新任)

(東上関)

## ■ 人権擁護委員

石川 勢喜子氏(再任)

(御旅屋町)

岡西 法英氏(再任)

(内島)

尾崎 かをる氏(再任)

(福岡町福岡新)

上滝 順正氏(新任)

(頭川)

廣瀬 哲丈氏(再任)

(木津)

## ■ 農業委員会委員(議会推薦)

石王 純子氏(新任)

(福岡町蓑島)

西本 恵子氏(再任)

(佐野)

青木 紘議員(再任)

## ■ 討論要旨(発言順)

### ○ 日本共産党

《反対》

市債の償還が財政を圧迫している中、高岡駅前東地区整備等への多大な税金投入は市民の理解が得られない。大型事業の事業費を圧縮し、市民生活に直結した分野に財源を振り分けるべきである。社会保障・税番号制度の導入は、個人情報漏えいや不正利用等による被害の危険性をはらんでおり、また、市民への周知が不十分である。一部の商

店街組合等に偏重した予算に対しては根強い批判の声があり、改めるべきである。

国民健康保険税、下水道使料の財政努力による引き下げを求める。また、あらゆる努力を行い、介護保険料の引き上げは中止すべきである。後期高齢者医療事業では保険料負担の軽減と制度の廃止を求める。

### ○ 自民同志会

《賛成》

厳しい財政状況にあるが、事業の廃止や整理、公共施設の適正配置が図られている。ふるさと納税などの財源確保に努め、未来高岡の実現に向け必要な投資を継続することを目指す。また、新たな行財政改革推進方針を策定し、効果的な行財政運営を目指し、かがやけ高岡、未来創造予算として積極的な予算編成を行ったことを高く評価したい。

新幹線関連事業は一区切りを迎えたが、速達タイプかがやけの新高岡駅停車の定期化に向け、県西部一丸となった官民挙げた取り組みを継続する必要がある。また、子育て満足度日本一を目指すにふさわしい福祉施策の充実など、将来を見据え、仕事と人の好循環を支えるまちづくりを今後とも積極的に取り組むことを要望する。

◇ 上下水道事業管理者の給与等に関する条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 職員の給与に関する条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 手数料条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 交通災害共済事業基金条例の廃止 全会一致で可決

◇ 子ども・子育て基金条例 全会一致で可決

◇ 保育の実施に関する条例の廃止 全会一致で可決

◇ 保育所条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 市立幼稚園条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 国民健康保険条例の一部改正 賛成多数で可決

◇ 介護保険条例の一部改正 賛成多数で可決

◇ 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等に関する条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例 全会一致で可決

◇ 地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例 全会一致で可決

◇ コミュニティセンター条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 高岡御車山会館条例 全会一致で可決

◇ 特別用途地区建築条例及び老朽空き家等の適正な管理に関する条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 高速バスターミナル条例 全会一致で可決

◇ 学校給食共同調理場条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 青年の家条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 体育施設条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 消防長及び消防署長の資格を定める条例 全会一致で可決

◇ 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 全会一致で可決

◇ 地域下水道条例を廃止する等の条例 全会一致で可決

## ■ その他

◇ 工事請負契約の締結(博労小学校体育館耐震補強工事) 全会一致で可決

## ○市政高岡

《賛成》

観光産業施策や文化創造都市の実現のために多くの事業が盛り込まれており、特に人口減少対策と人口減少時代に対応した社会システムの構築のために、定住施策や子育て環境の整備事業に多くの予算を配分したことを評価したい。また、少子高齢化時代に突入している本市においても限られた財源の中で、質の高い行政サービスを効果的・効率的に市民に提供することが求められており、地域間競争を勝ち抜くためにも、個性ある地域の発展や活性化に取り組みべきである。

未来高岡に向けた新しいステージに進むために、市民が行政に期待を持てるよう、建設的な議論を行い、施策、事業を着実に実行し、成果を上げることを要望する。

## ○社民党議員団

《賛成》

市債発行額が償還額を下回り、8年ぶりに市債残高が減少したが、さらなる健全な財政運営に努めるべきである。若者や女性に重点を置く新たな人口減少対策及び子育て満足度日本一を目指す取り組みでは、他市にない魅力ある施策を強力に推進することを求める。また、新幹線の開業により飛越能地域の交通結節点

として、歴史資産・観光資源を活かした交流人口の拡大、企業誘致による雇用の創出と定住に向けた諸施策を推進されたい。新幹線関連事業が概ね完了したことから、今後は、住んで良かった、住み続けたいまち、安心・安全のまち高岡を目指し、地域の特性を活かした魅力的で個性ある未来高岡に向けたまちづくりを推進することを要望する。

## ○公明党

《賛成》

公債費の増加傾向に加え、各種福祉施策の対象者の増加も見込まれることから、予算編成は依然として厳しいが、経費の節減や合理化などに努められたことを評価する。また、地域包括ケアシステムの構築や、第3子以降の保育料の無料化、放課後児童健全育成クラブの拡充などの子育て支援策の充実により子育て満足度日本一を目指す取り組みを高く評価したい。さらに、国の緊急経済対策に呼応した住民生活緊急支援としてのプレミアム付き商品券の発行支援事業や、「未来高岡」総合戦略の策定事業により地方創生を先行した取り組みも、高く評価する。今後、市民生活に配慮した施策を展開し、より効率的・効果的な財政運営に努めるよう要望する。

## 意見書（要旨）

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。

■介護保険制度における新たな地域支援事業の導入並びに介護人材の確保及び拡充についての意見書

国は、個別給付としてきた介護予防給付を、市町村が実施している地域支援事業に段階的に移行し、新しい地域支援事業として包括的に実施することを検討している。介護予防給付やこれまでの地域支援事業は、要支援者への介護予防の取り組みとともに、給付を担う事業所の育成など、介護サービスを支える地域の大きな力となっている。こうした状況から、事業者や市町村に混乱が生じないように制度変更にて段階の配慮と取り組みを要望する。加えて、介護報酬の処遇改善の経過措置も平成27年3月31日で終了することから、介護サービス事業所では介護従事者の確保が厳しい状況にある。今後、介護従事者の拡充は、質の高い介護サービスの提供に必須であり、処遇改善などによる人材確保・定着・育成策の一層の推進について、特段の取り組みを図ることを強く要望する。

◇工事請負契約の締結（高陵中学校校舎耐震補強工事）……………全会一致で可決

◇財産の処分（土地）……………全会一致で可決

◇指定管理者の指定（五位山交流館）……………全会一致で可決

◇町の区域及び名称の変更……………全会一致で可決

## 報告

◇専決処分（平成26年度一般会計補正予算）……………全会一致で承認

## 2日目追加提出議案

### 平成26年度 補正予算

- ◇一般会計……………賛成多数で可決
- ◇国民健康保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇駐車場事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業団地造成事業会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇後期高齢者医療事業会計……………賛成多数で可決

## 最終日追加提出議案

### 人事

- ◇教育委員会の委員の任命……………全会一致で同意
- ◇監査委員の選任……………全会一致で同意
- ◇人権擁護委員の推薦（5件）……………全会一致で同意

### 議員提出議案

- ◇市議会委員会条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇集団的自衛権行使等を容認する閣議決定を撤回し関連法律の制定等を行なわないことを求める意見書……………賛成少数で否決
- ◇農業・農協改革に関する意見書……………賛成少数で否決
- ◇労働者保護ルールの改悪に反対する意見書……………賛成少数で否決
- ◇介護保険制度における新たな地域支援事業の導入並びに介護人材の確保及び拡充についての意見書……………全会一致で可決

### 請願

- ◇安心・安全の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員に関する国への意見書提出を求める請願（富山県医療労働組合連合会 執行委員長 大浦 義憲）……………賛成少数で不採択

# 代表質問

今定例会では、自民同志会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民同志会  
金森 一郎

## 未来高岡の将来像は

**問** 未来高岡の実現に向けた平成27年度予算について問う。

(1) 歴史都市や文化創造都市など、本市の強みや可能性を活かす未来高岡の実現のためには、ポスト新幹線の取り組みが重要である。平成27年度予算の方向性の基本的な考えは。(2) 魅力ある未来高岡の創造に向け、人口減少対策として都市機能、人、まちの魅力への投資に重点を置いた施策を展開することだが、意気込みと期待する効果は。

**市長** (1) これまで本市は、選ばれたまちを目指して都市基盤の計画的な整備を進めるとともに、歴史、文化等の地域資源を磨き上げながら、まちの魅力創出に努めてきた。新幹線開業と新市誕生10周年の大きな追い風を最大限に活かし、未来高岡へ向けた新たな

ステージに進むため、27年度予算をかかげ高岡、未来創造予算と位置付け、三つの投資を戦略的施策とした。第一に将来の高岡を支える都市機能の強化、第二に未来高岡の主役を担う人の育成、第三に文化創造の取り組みを通じたまちの魅力向上とし、積極的に予算化を行った。

(2) 都市機能への投資では、都心エリアと周辺市街地の円滑な移動、連携を確保し、効果的・効率的に活用できる環境を作りだすコンパクト・アンド・ネットワークを実現したい。人への投資では、特に若



未来高岡の実現に向け都市機能を強化

い世代に焦点を当て、住んでよかったと思える定住施策を図り、子どもを安心して産み育てることのできる子育て満足度日本一のまちづくりを目指したい。まちの魅力への投資では、歴史的・文化的資産を磨き、つなぐことでまちの魅力を創出し、そこで暮らす人々の魅力と結び付け文化創造都市高岡を実現したい。これらの投資を未来高岡の実現の第一歩と位置付け、関係施策を効果的に進めていきたい。

## 効果的な企業誘致を

**問** 新幹線の開業に伴う利便性の向上や国の税制優遇の方針を受け、本市の強みを前面に打ち出し、大都市圏にある本社機能の本市への移転促進に向けて、今後どのように企業誘致を展開していくのか。

**市長** 本市では、これまで充実した交通網など、都市としての総合力を積極的にPRし、企業誘致に努めてきた。平成25年度から企業誘致強化期間として集中的に企業誘致に取り組んでいる本市にとって、

国による企業の本社機能等の地方移転を強化する税制優遇措置はさらなる追い風となることから、積極的に活用したい。また、私自身が先頭に立ち、首都圏及び大都市圏の企業へ、優れた立地環境や充実した助成制度をPRし、企業立地の促進に取り組みたい。

## 文化創造都市の推進

**問** 本市では、文化創造都市高岡を目指し、様々なイベントや施策を実施してきたが、さらに市民に分かりやすく文化創造都市高岡の実現に向けた取り組みを推進するための戦略は。

**市長** 本市では、概ね10年間の基本的な指針となる文化創造都市高岡推進ビジョンを策定し、知る、創る、つなげる、伝えるの四つの戦略を展開したい。知るとは、市民一人ひとりが、日ごろから文化や芸術に触れ、自らの心の豊かさや生活の質を高めるための戦略である。創るとは、主体的に創造活動に携わる市民を増加させる戦略である。つなげるとは、分野を超えた交流を創出し、他分野の活性化へつなぐための戦略である。伝えるとは、高岡の認知度向上とブランド形成を図るための戦

略である。これらの戦略に基づき高岡ならではの文化創造都市の構築に努めたい。

## 新幹線開業後の組織体制

**問** 多様化する住民ニーズに対応するための政策形成をはじめ、部局横断的な取り組みが必要と考えるが、新たな組織の再編や統合、見直しについてのは。

**市長** 新幹線開業後の未来高岡を見据え、課題である地方創生の実現など、新しい状況に対応する体制が必要と考え、部をまたがる組織再編を実施したい。まず、企画立案機能を強化し、市政の横断的な連携・調整を行う政策監を経営企画部に新設する。また、都市整備部と建設部を都市創造部として再編し、コンパクト・アンド・ネットワークを基軸とするまちづくりに総合的に取り組むたい。さらに、多文化共生、男女平等・共同参画も含め市民に身近な政策を所管し、共創のまちづくりの推進を図る部局として、生活環境部を市民生活部に名称変更する。そのほか、文化創造課の設置や福祉保健部内の児童育成課を改組して子ども・子育て課を設置するなど、重要施策の一層の推進を図りたい。

# 個別質問

今定例会では、9人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



福井 直樹  
自民同志会

## 交通不便・空白地域の解消

**問** 並行在来線新駅周辺には公共交通不便・空白地域が存在している。この並行在来線新駅周辺の公共交通不便・空白地域を解消するため、バス路線の整備、運行についての対策が必要と考えるが、見解は。

**生活環境部長** 新駅の利用圏域では、鉄道やバスのサービスがない公共交通不便・空白地域が点在しているが、新駅整備により、その大半が解消されると考えている。また、新駅の利便性向上と利用圏域及び利用客の拡大や効果的な交通ネットワークの構築を図るため、新駅にアクセスするバス路線の整備も考えられる。今後、本市としては、新駅周辺の旅客需要動向を見極めながら交通事業者と協議を行い、周辺住民の利便性向上に向け、研究していきたい。

## 高岡産野菜のブランド化を

**問** ホウレンソウや小松菜などの高岡産の軟弱野菜にブランド名を考案してはと考えるが、見解は。

**産業振興部長** 農産物のブランド化は、長い歴史の中で培われ、全国へ広まったものであるが、近年では、PRや情報発信によって急速に人気が高まるように見受けられる。高岡産野菜については、生産者や流通業者等関係機関と連携し、ネーミングやロゴ等を検討していきたい。

## 地方創生への取り組みは

**問** 高岡市版総合戦略の策定に向け、自律的かつ自主的に取り組んできた人口減少対策本部の検討状況は。また、本部を地方創生元年にふさわしい組織に再編する考えは。

**市長** 人口減少対策本部では、若者と女性にターゲットを絞り、関係施策の再構成を検討してきた。平成26年度内には報告書を作成し、内容は27年度策定の「未来高岡」総合戦略の主要な柱とする。27年度

は総合戦略の策定に併せ、総合計画第3次基本計画の策定にも着手したい。そのため、総合計画策定委員会と人口減少対策本部の再編・統合により、未来高岡創生本部を設置し、国の地方創生への対応と、本市の将来像の実現に向けた方向性を一元的に検討したい。



本田 利麻  
自民同志会

## 土曜学習の今後の方針は

**問** 本市では、平成26年度から2校の小学校をモデル校区として土曜学習に取り組んでいるが、27年度は何校の小学校で実施するのか。また、中学校では、実施の検討を含め、どのように取り組むのか。

**教育長** 2校のモデル校区における事業効果や課題を踏まえ、27年度は新たに6校区を追加し、計8校区において土曜学習推進事業を実施したい。中学校での土曜学習は27年度の導入は予定していないが、本市の中学生の土曜日の過ごし

## 既存施設を芸術文化環境に

**問** 音楽や演劇の関係者からは、文化活動のための練習場所の不足が指摘されている。地域の活性化やにぎわいづくりにためにも、市の既存施設を有効活用し、練習場所の整備を検討しては。

**教育長** 本市では、練習や成果発表できる場所として、市民会館や生涯学習センターなどの生涯学習施設を設置している。平成26年度は、生涯学習センター1階交流スペースをにぎわい空間として、新たにステージ環境を整備しており、市民に文化活動や交流の場として活用されている。今後は、地域の芸術文化団体や市民などから意見をもらいながら、市内の既存施設を有効活用し、市民の文化・芸術学習活動を支えていきたい。

## 農業振興施策の方向性

**問** 農業環境は厳しさを増しているが、本市における今後の農業施策の方向性と課題に対する考え方は。

**市長** 本市の農林水産業振興プランでは、地域で農業の将来を支える体制の確立や担手の育成等を目指すこととし



農業者が安心して経営展開できる支援を



中山 欣一  
市政高岡

## 未来高岡に向けた予算は

**問** 新幹線開業に向けた取り

組みに対する評価は。また、新幹線開業をメリットとして、未来高岡にどのようなつなぐ予算としたのか。

**市長** 本市では、選ばれる都市を目指し、高速交通の結節点機能の強化など都市の強みの向上を図るとともに、まちの魅力の創出に努めてきた。これらを通じて、飛越能の玄関口としての地歩を固めることができたと考えている。新幹線開業効果を最大限に活かし、人口減少社会における地域活力創出のため、将来の高岡を支える都市機能の強化、未来高岡の主役を担う人の育成、文化創造の取り組みを通じてまちの魅力の向上への三つの投資を戦略的柱として積極的に予算化を図った。

### 行政組織の再編整備

**副市長** 組織改革について問う。(1)行政組織を再編することの意義と期待する役割は。また、市民への分かりやすい周知が必要と考えるが、見解は。

(2)福岡総合行政センターの今後の方向性は。また、その方向性を踏まえ、福岡地区への満足感のある行政サービスの提供に対する考え方は。

**総務部長** (1)効率的で機能的な施策展開を図るとともに、複雑・高度化する市民ニーズ

や行政課題に対応できる取り組みを進めてきた。今回の組織再編に当たっても、新幹線開業後の未来高岡のための施策を推進できるよう組織機構の再構築に努めた。また、業務内容等が分かりやすい組織名称への変更等により、利便性の向上に努めた。今後は、本市の広報誌やホームページをはじめ、様々な機会を捉えて周知を図りたい。

**副市長** (2)福岡総合行政センターは、福岡地域の様々な相談や手続きの窓口であるとともに、地域住民の交流の場として地域に密着した機能を有している。今回の組織再編では、農地や林務、土木等に関する事務処理体制を設置し、引き続き、総合的な行政サービスを提供する体制を確保したい。また、建設部移転後の福岡庁舎の利活用案を早急に策定し、平成27年度中に必要な改修を行い、条件が整った段階で供用を開始したい。



上田 武  
社民党議員団

### 誇れるまちを目指して

**副市長** 平成27年度予算について問う。

(1)人口減少対策のこれまでの取り組みの実績と課題は。また、平成27年度予算にどのように反映したのか。

(2)企業誘致による平成26年度の企業進出数と雇用創出の実績は。また、27年度の目標と決意は。

**経営企画部長** (1)住まいでは地域の特性に合わせた定住促進事業を、働く場では魅力ある企業や雇用の確保を、子育てでは医療費助成の拡充などを行ってきた。一方、若者や女性の転出を抑制し、県内外から本市への人の流れを創出することが大きな課題である。27年度では、若者や女性が住みやすく魅力的に感じるまちづくりを推進するため、市内で居住・就職を促進する奨学金制度や第3子以降の保育料無料化、新幹線通学の定期助成、産後ケア事業等の新たな事業を展開する。

**市長** (2)26年度は、高岡オフイスパークで3社3区画が分譲となる。また、26年度の企業立地助成金の交付対象企業である14社で76名の新規雇用が創出された。26年度に分譲した企業の雇用の効果も期待できる。27年度は、新幹線開業等の追い風を活かし、工業団地の早期の分譲完了に取り組みたい。今後とも、私自身

### 安全な電停の実現を

が先頭に立ち、企業立地の促進に果敢に取り組みたい。

**副市長** 万葉線の新吉久電停を交通島電停に改善するため、道路の拡幅を県に強く要望していくとのことであったが、進捗状況は。

**生活環境部長** これまで、県への要望に向けた事前協議を行うとともに、市の担当部局間で実地調査を行ってきた。

道路拡幅には、新吉久電停周辺の状況変化を踏まえ、現地の詳細な形状を把握し、その拡幅幅や道路法線の設定を行ったうえで、安全かつ効果的



より安全な利用環境が望まれる新吉久電停

な対策を講じていく必要がある。本市としては、万葉線のより安全な利用環境の実現のために、地元自治会の意見を聞きながら、県及び関係者と協議を行い、交通島電停の設置の可能性を含め、具体的方策の検討を進めたい。



吉田 健太郎  
公明 党

### 地域消費を促す工夫を

**副市長** プレミアム付き商品券発行支援事業については、本市の地場産品等の消費を喚起し、費用対効果をより高いものにしていくために、商品券に品質志向を刺激する工夫をしてはと考えるが、見解は。

**産業振興部長** これまでも、地元産品を扱う店舗が参加しており、今回は新たに農産物直売所等を対象とすることを検討している。今後、地場産品取り扱い店舗等の拡大に向け、事業実施者や関係機関と連携を図りながら、消費喚起につながるよう取り組みたい。

### 支え合う社会づくりを

**副市長** 少子高齢化、人口減少社会を見据え、平成27年度から地域包括ケアシステムの構築

がより本格的に推進される。地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取り組みの工夫について、見解は。

**市長** 高齢化の進展に伴い、高齢者の自立支援や尊厳の保持の実現が大きな課題となっている。これまで小学校区ごと

とに高岡あつまり福祉ネットの整備を進めてきており、高齢者等の支援体制に一定の成果が表れてきたと考えている。また、第6期介護保険事業計画では、小学校区ごとに策定

した地域支援計画を中学校区単位で連携させ、地域住民等の自助・互助や、介護サービス事業者等の共助による地域完結型のあつまりライフ支援システムを構築したいと考えている。この本市ならではのシステムを通じて、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らすことのできる地域包括ケアシステムの実現に努めたい。

### 生活困窮者への支援

**副市長** 生活困窮者自立支援事業は、増加する生活困窮者に対応する新たなセーフティネットとして機能することが期待されているが、本事業の事業概要と実施規模の見直しは、**福祉保健部長** 本事業は生活保護に至る前の段階での自立支援を強化することを目的と

し、七つの事業で構成されている。本市では包括的な相談を行う自立相談支援事業などの3事業を平成27年度で実施することとしている。実施規模としては、3事業で約651万円を計上している。



中 一夫  
自民同志会

### 市民に分かりやすい窓口

**副市長** 来庁者から、市民課の電光掲示板が見にくいとの意見があるが、薄型テレビ画面を使用したモニター掲示やおもてなしロボットの活用などにより改善を図っては。

**生活環境部長** 戸籍届や住民移動届等の窓口では、音声案内とともに電光掲示による番号表示を行っている。現行の機器は老朽化していることから更新を検討しており、更新の際には、機器の選定や設置場所を検討し、窓口サービスの向上につなげたい。また、おもてなしロボットは、先行市の導入状況等を見ながら、費用対効果を見極めたい。

### 合併10周年記念事業は

**副市長** 平成27年は新市が誕生して10周年を迎えるが、市民に

合併の効果を実感してもらうためにも、どのような10周年記念事業を行うのか。

**総務部長** 新市誕生10周年記念事業は、奏でようKOUFU UKU（高福）のハーモニーをメインテーマに、みんなでお祝い、市民が主役、地域で盛り上げよう、高岡の魅力を再発見の四つの柱を掲げ、事業を展開していく。高岡西部総合公園野球場での完成記念式典や10周年記念植樹をはじめ、（仮称）高岡フェスタや11月1日の節目を祝う記念式典など、27年度を記念イヤーとして各種事業を実施し、新たな時代の幕開けにふさわしい本市のあり方を考え、さらなる飛躍につながる契機となる



古池嘉和教授（富山大学） 三枝成彰氏（作曲家） 高橋正樹市長  
新市誕生10周年を記念し、新しい市民の歌を制作

よう努めたい。

### 託児サービスの利用拡大

**副市長** 平成26年12月に託児機能を追加し、施設の充実を図った子育て支援センターの今後の託児サービスの実施に向けた課題と対応の考えは。

**福祉保健部長** 子育て支援センターは、26年12月に、まちなかキッズステーションとして育児教室や小学生を対象としたワークショップ等を開催するスペースを増設するとともに、託児機能を追加し、施設の充実を図ったところである。施設を整備して間もないため、託児サービスの利用は少ない状況であるが、27年4月からは専任の保育士を確保し、PRにも努め、利用の拡大を図りたい。



石須 大雄  
社民党議員団

### かがやき定期停車のために

**副市長** 新幹線速達タイプかがやきの新高岡駅停車の定期化には、利用実績の積み上げが重要であるが、どのような取り組みが必要と考えているか。

**市長** まちの魅力の向上に努め、首都圏を中心に本市を

信し、観光誘客を図っていきたい。既に、駐車場の一部無料化や団体旅行客向けの貸切バス等の運行支援等、新たな利用促進策も打ち出しており、手応えを感じている。また、1人1客・1人1乗車運動を通じて、県西部地域全戸へのPRチラシの配布や研修旅行等による新幹線の利用促進等、さらなる需要の掘り起こしに取り組んでいる。本市のみならず新高岡駅利用圏域の方々による、幅広く粘り強い利用促進への取り組みが必要と考えている。

### 伏木曳山祭にクルーズ船を

**副市長** 伏木曳山祭に観光客を誘致するためには、食事や宿泊の場所、トイレが必要との意見がある。伏木曳山祭の開催日に港に船を停泊させ、宿泊してもらえばと考えるが、見解は。

**産業振興部長** これまで船会社などに対し、伏木曳山祭をはじめとした市内外の祭り等をPRしてきたが、客船は年間を通して隙間なくクルーズを実施していることや、宿泊の時間帯を次の寄港地への移動に充てており、市内の祭りの開催日の寄港は実現できていない。一方、北陸新幹線と組み合わせたクルーズは、平



成27年8月に実現する見込みである。今後、伏木曳山祭を組み入れた企画についても、船会社等に提案していきたい。

### 安全な交通環境の整備

**副 副** 平成27年5月の伏木コミュニティセンターの供用開始に伴い、センター前の道路は、今まで以上に人と車の交通量の増加が見込まれる。センター前の道路を歩行者が安心して通行できるよう改良すべきと考えるが、見解は。

**建設部長** 伏木コミュニティセンター前の道路は、県が管理する道路であることから、本市としては、歩行者の通行等について開館後の状況を注視しながら、道路の安全対策等を検討したい。



横田 誠二  
自民同志会

### 未来高岡を実現する予算

**副 副** 平成27年度予算について問う。

(1)平成27年度に、各部署が保有する地図情報を共有し、幅広い行政サービスに活用するため、統合型GISを導入するが、どのような効果があるのか。また、今後、市政にど



市内の獅子舞の保存・継承に向けて

不審者情報などの市民への情報開示や、民間が利用しやすいデータの提供により、行政サービスの向上を目指していきたい。

**教育長** (2)市内の獅子舞関係者の意見交換会は、獅子舞の保存・継承へ向けた良い契機になると考えている。意見交換会での協議内容が、今後の保存・継承の足掛かりとなるよう注視するとともに、引き続き、本市としても獅子舞の実施状況などの追跡調査を行っていききたい。

### 事前合宿等の誘致を

**副 副** 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツ振興や経済効果をもたらすため、県とも連携しながら事前合宿等の誘致を積極的に推進しては。また、今後の具体的な取り組みは。

**教育長** 本市では、これまでも合宿誘致に関する情報収集を行い、県をはじめ各競技団体等に要望や協力依頼を行ってきた。また、庁内プロジェクトチームを発足させ、本市にオリンピック等の開催効果が最大限波及するよう事前調査や実施事業の検討を進めることとしている。今後は、県と連携しながら、様々なルートを通じて誘致活動に取り組

みたい。

**副 副** 認知症の医療相談や受診のニーズが高まる中、認知症の専門医療の提供と地域包括支援センター等との連携を担う中核機関として期待されている認知症疾患医療センターの早期設置に向けた決意は。



金平 直巳  
日本共産党

### 認知症支援の早期実現を

**副 副** 認知症の医療相談や受診のニーズが高まる中、認知症の専門医療の提供と地域包括支援センター等との連携を担う中核機関として期待されている認知症疾患医療センターの早期設置に向けた決意は。

**福祉保健部長** これまで、市内の精神科を有する医療機関と設置のための交渉を進めてきたが、専門職員等の確保に課題があり、実現しなかった。今後、複数の医療機関や地域包括支援センター等で構成する検討会を立ち上げ、認知症疾患医療センターの設置の方策について検討したい。

### 交通不便地域の解消を

**副 副** 新幹線開業と同時に生活バス路線が一部廃止となるが、交通弱者の切り捨ては許されない。コミュニティバスの路線延伸やデマンドバス・タクシーを至急導入し、住民の期待に迅速に対応すべきでは。

**生活環境部長** 新たな公共交通を導入し、運行を維持する

ためには、地元住民の計画段階からの積極的な参画とマイバス意識による支えが必要不可欠である。早期に地元と連携・協議を重ねて、交通事業者等の協力も前提に、路線バスに代わる交通手段の可能性について、その支援を含めて具体化に向けて取り組みたい。

### 税番号制度に懸念

**副 副** 社会保障・税番号制度の導入が計画されているが、情報漏えい、プライバシーの侵害、個人情報不正利用被害等への市民の懸念にどう応えるのか。

**市長** システム面では、個人情報情報の分散管理、個人番号を直接利用しない情報連携、システムへのアクセス制御、通信の暗号化等の対策を講じている。また、番号法において、法の定める場合以外での特定個人情報収集・提供等の禁止、罰則の強化、個人番号取得における厳格な本人確認の義務付け等、不正利用の防止・抑制が図られていることから、セキュリティ対策は非常に厳格であると認識している。さらに、市職員の個人番号の取り扱い等の研修や、システム業者への指導徹底など、一層の安心・安全の確保に努めていくこととしている。

# 総括質問

今定例会では、4人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



樋詰 和子  
公明党

## コンベンション誘致強化を

**問** 北陸新幹線の開業や地方創生の追い風を活かし、観光客だけでなく、インパクトや経済効果の大きいコンベンション等の誘致も検討してはと考えるが、見解は。

**市長** 本市でのコンベンションは、平成27年度では、6月におくのほか道の風景地ネットワーク高岡大会、11月に伝統的工芸品月間国民会議全国大会など、多くの大会が予定されている。今後、歴史・文化やものづくりといった特色ある分野や、新幹線をはじめとする交通の利便性などをPRすることに加え、現在あるコンベンションインフラの良さを活かしながら誘致につなげたい。

## 浸水への計画的な備えを

**問** 近年は、ゲリラ豪雨による甚大な被害が各地で続発し

ている。災害に強いまちづくりのために、集中豪雨や市街地浸水に備えた側溝改修を計画的に実施すべきでは。

**建設部長** 本市では、平成24年7月の豪雨により浸水被害が発生した16地区において、浸水被害の軽減を図るため、25年度より、道路冠水対策事業として計画的に側溝改修を実施している。27年度中には、全ての地区において工事に着手し、10地区の工事の完了を予定しており、残る6地区においても、早期完了に向けて取り組みたい。

## 女性の社会進出に支援

**問** 全ての女性が輝く社会づくりのため、国が発表した、家事や子育てなどを行っている女性の再就職や地域貢献を支援する女性のチャレンジ応援プランを周知徹底すべきでは。

**経営企画部長** 本市では、重点課題の一つとして女性の参画を掲げ、各種講座や情報誌などを通じ、女性の積極的な社会での活躍を推進してきた。女性のチャレンジ応援プランについても、これらの各種講



野上 達夫  
社民党議員団

## 厳しい財政状況への認識は

**問** 本市の財政状況は、市税収入が伸び悩んでいることから、厳しい状況にあると思うが、財政状況に対する認識は。

**市長** 本市の財政は、少子高齢化、人口減少などの社会経済情勢を背景に、市税の伸び悩みや地方交付税の減少傾向等から一般財源の確保が非常に厳しい状況である。一方、義務的経費の増加や、老朽化した施設等の維持補修費の増高等から財政が硬直化しつつあり、大変厳しい状況であると認識している。

## いきいきと暮らすために

**問** 介護保険制度の改正により、介護予防サービスの訪問

介護と通所介護が地域支援事業に移行される。この改正により、在宅生活が困難になり、要支援者の介護度の重度化が進むことも懸念されるが、地域支援事業に移行するうえで課題は。

**福祉保健部長** 地域支援事業への移行に当たっては、既存の介護事業所を利用しつつ、NPOやボランティア等を始め住民主体のサービス等を拡充し、生活支援や介護予防サービスが提供できる基盤整備を行うことが課題である。また、高齢者が単にサービスの受け手だけでなく、生活支援等の担い手となって社会参加していくことができる体制づくりも重要と考えている。

## 総合計画の検証を

**問** 地方創生として取り組む「未来高岡」総合戦略の策定に当たっては、総合計画のこれまでの取り組みの検証が重要と考えるが、見解は。

**市長** 総合計画では、成果指標や目標数値を設定したうえで、毎年、検証を実施しており、年次目標を概ね達成するなど着実な推進が図られたと考えている。新幹線開業後のまちづくりに向けては、平成27年度予算で、都市機能・人・まちの魅力への投資を戦

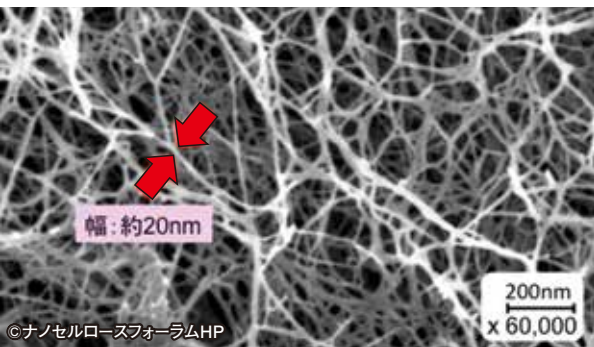


永森 茂  
自民同志会

## 新産業創造への支援を

**問** 地元企業で研究が行われている新素材セルロースナノファイバーの将来性とそれによる新産業の創出、雇用と地域の活性化についての見解は。

**市長** セルロースナノファイバーは幅広い可能性を秘めた高機能素材と認識しており、



©ナノセルロースフォーラムHP  
新素材として注目されるセルロースナノファイバー

\*セルロースナノファイバー：植物繊維をナノレベルまで微細化することで得られる最先端のバイオマス素材。

12月定例会後～3月定例会前

- 12月16日 広報広聴委員会
- 1月7日 広報広聴委員会
- 29日 新幹線・公共交通対策委員会
- 2月2日 経済消防常任委員会
- 4日 建設水道常任委員会
- 9日 総務文教常任委員会
- 12日 議員説明会
- 13日 民生病院常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 24日 正副常任委員長会議

3月定例会

- 3月2日 議員協議会  
本会議(提案理由説明)  
議案説明会
- 3日 議案説明会
- 4日 本会議(追加提案理由説明)  
議案説明会
- 5日 本会議(代表質問)
- 9日 本会議(個別質問)
- 10日 本会議(個別質問)
- 11日 議会運営委員会
- 12日 本会議(総括質問)
- 13日 代表者会議  
民生病院常任委員会  
経済消防常任委員会
- 17日 議会運営委員会  
建設水道常任委員会  
総務文教常任委員会
- 19日 委員長会議  
議会運営委員会  
議員協議会  
本会議(議案など議決)

地場産業で活用し、個々の企業が技術革新につなげることに重要と考えている。漆器などの伝統産業や化学産業に親和性が高いと考える。技術や素材の融合は地域経済の活性化につながるものと期待しており、市が業界間のマッチングの役割を果たすことで積極的に関わっていききたい。

企業の研究者などでは、開発要素となる技術シーズを提供することで、実証や事業化に結び付けることが可能となる。本市としては産業支援機関と連携しながら、様々な支援ツールを提案し、企業が開発プログラムを構築する段階で可能な限り関与するなど、支援していききたい。

新たな財源確保に向けて

歳入が伸び悩み、厳しい財政状況の中、ネーミングライツやクラウドファンディングなどを積極的に活用し、新たな財源確保に取り組みたいと考えるが、見解は。

要である。事業実施に当たっては、国・県補助金等の活用はもとより、ネーミングライツやクラウドファンディングなどの市民から資金調達を図る方法もあり、個々の事業に最もふさわしい財源確保の方法についてその都度検討し、適切な財源確保に取り組んでいききたい。



中川 加津代  
自民同志会

子育て満足度日本一を

子育て満足度日本一を目指すには、合計特殊出生率や年少人口比率の改善のため具体的な数値目標を持つべきと

考えるが、見解は。

市長 子ども・子育て支援事業計画は、満足度を図る指標として、子育て支援の実感度、子育てしやすさ度、ワークライフバランスの実現度、この地域で子育てがしたいと思う人の割合の四つの指標を設けている。全ての子どもと子育て家庭に愛情と喜びがあふれるまちであると実感してもらうことが必要と考えており、四つの指標を究極目標100%とすることで子育て満足度日本一のまちを目指したい。

第3子以降の保育料無料化への所得制限の廃止は容易ではないが、子育て支援策の充実を図る本市では、所得制限による市の負担額抑制分を他の階層の保育料軽減に充てる等の工夫を図るべきでは。

福祉保健部長 子ども・子育て支援新制度での保育料は、低所得階層の保育料を従来より最大、月額5400円引き下げ、さらなる負担軽減を図ったところである。対象者は約1000人で、市の負担増は約3200万円となる。所得制限による市の負担額抑制分を他の階層の保育料軽減に充てているとも考えられる。持続的な子育て施策の充実、重要な課題であり、第3子以降の保育料も含め、今後さら

に検討したい。

人材確保への取り組み

現在、看護や介護、保育分野では看護師の人材不足が深刻である。人材確保のため、統合看護専門学校に奨学金制度を備えた社会人枠を設ける考えは。

福祉保健部長 現在の市内3看護専門学校では、一般入試に加え、地域指定の推薦入試や社会人入試を行っている。今後、医療・介護・福祉等の分野で看護師需要が高まる中、安定的に看護師の確保を図る観点からも、統合看護専門学校にも奨学金制度の創設と社会人入試枠の設置を検討している。



社会人枠の創設による看護人材の確保を

## 委員会の動き

4常任委員会では、委員が次のような観点から当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

### ○総務文教常任委員会

◆業務委託については、低価格での入札が見受けられるが、労働者への賃金の支払いが適正に行われているのか不安を感じる。低入札価格調査制度を業務委託全体に導入し、低入札対策を強化すべきでは。

◆高岡ブランド発信事業は、ふるさと納税制度を活用して寄付をした寄付者に、魅力的な本市の特産品等を発送することで、高岡の魅力や商品ブランドを全国に発信するものであるが、その周知方法は、

◆総合体育館の設計における基本的な考え方は。また、他の競技施設などを絡めた全体的な整備方針はあるのか。

### ○民生病院常任委員会

◆第3子以降の保育料無料化は、低所得者対策である一方で、人口減少対策や子育て支援の強化策の一つでもあるが、本市では、どのように考えているのか。

◆高岡御車山会館の完成に伴い、周辺道路の交通渋滞等が想定される。早急な対応が必要と考えるが、見解は。

◆地域支援事業の業務量の増加が見込まれることから、65歳以上の高齢者の多い地域の地域包括支援センターには、職員の十分な配置が必要と考える。認知症コーディネーターの配置状況と今後の対応は。



新たな観光の拠点となる高岡御車山会館

### ○経済消防常任委員会

◆商店街の照明は、防犯効果に加え、まちのにぎわいづくりに関わることから、補助率を上げるべきと考えるが、見解は。

◆消防団員の処遇改善が消防団員の減少に歯止めを掛けると思われるが、見解は。また、消防団員の加入促進についての考えは。

◆伏木地区の防火・防災体制を確立するために耐震性防水槽の設置を行うとのことだが、具体的な設置場所は。

### ○建設水道常任委員会

◆市街灯管理費を増額し、蛍光灯からLED照明への更新を進めていくとしているが、平成27年度の更新予定数は。

◆全国で発生している突発的な道路陥没の対策として、どのような取り組みを行うのか。また、道路下の空洞探査を行う専用車両の導入も必要ではないかと考えるが、見解は。

◆城端・氷見線イメージアップ事業では、城端線の増便だ

けではなく、利便性の良さをPRするなどのイメージアップにつながる様々な施策を実施してもらいたい。

## 編集後記

地方創生元年となる平成27年、待望の北陸新幹線が3月14日に開業しました。今後は、この北陸新幹線効果を最大限に活かすための取り組みが重要になってまいります。

3月定例会では、都市機能、人、まちの魅力への三つの投資を戦略施策に据えた27年度予算を可決しました。また、子育て満足度日本一を目指すための福祉施策や人口減少対策に重点を置いた様々な重要施策についても議論を行いました。

新幹線開業後の未来高岡の実現のためにも、都市基盤の整備や歴史・文化資源を磨き上げ、都市の総合力と求心力を高める取り組みを市議会と行政当局が互いに力を合わせて継続してまいります。

### ★編集委員

◎水口、○中川、吉田、中山、本田、福井、金森、上田、盤若、金平

(◎委員長 ○副委員長)

(本田記)

## 6月定例会の予定

6月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、6月4日(日)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

12日(金)	10時	議員協議会
	13時	本会議 (提案理由説明)
16日(火)	9時	議会運営委員会
	10時	本会議(個別質問)
17日(水)	10時	本会議(個別質問)
18日(木)	11時	代表者会議
	13時	民生病院常任委員会
	13時	経済消防常任委員会
19日(金)	10時	議会運営委員会
	13時	建設水道常任委員会
	13時	総務文教常任委員会
23日(火)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案など議決)

☘ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

## 市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

### 最近の定例会の傍聴者数

定例会	本会議	委員会
26年 6月	39人	1人
26年 9月	38人	4人
26年12月	117人	2人
27年 3月	47人	0人